

根岸にちにち交流会



折り紙教室

活動を始めたきっかけ

根岸駅前地域は高齢者居住率が高く、これまでもシニアクラブなどを中心に高齢者同士の交流などの活動を行ってきました。しかし、無縁社会が問題視されている中、その活動をクラブ加入者だけではなく、地域全体の課題として取り組む必要性が出てきました。

そこで、平成24年度から自治会と地域の関係団体が連携し、根岸駅前地域における**多世代交流、子どもたちの見守り活動、自治会間交流などの活動を通じて『顔の見える関係づくり』**を目指して活動を開始しました。現在も各自治会からの支援と参加費で活動を続けています。

補助金交付時の活動内容

構成員

ソフトタウン根岸 壱・弐・参番館自治会、ソフトタウン根岸シニアクラブ、ソフトタウン根岸子ども会、根岸駅前ビル自治会、根岸ベイアーク自治会、根岸ダイヤモンドマンション自治会、根岸地区青少年指導員、根岸地区スポーツ推進委員、根岸地区民生委員・児童委員、根岸地区保健活動推進員、根岸地区赤十字奉仕団員、根岸地区家庭防災員

主な活動

● 多世代交流サロンの運営

年20回程度のサロン活動を実施し、一人暮らし高齢者の把握や声かけ活動などを行いました。

最近は活動が安定してきて、毎回30名程度の参加者がおり、会のファンもいます!



サロンでの活動

- 折り紙教室
- 手芸を楽しむ会の開催
- 春の歩け歩け会 (@久里浜花の国)
- ホタルの夕べ (ホタル観賞会 @三溪園)
- 健康チェックデー (身長、体重、血圧測定)
- 七夕飾りづくり
- 写経教室
- 根岸書初め大会
- 歌声喫茶 などなど。

月1回の定例会

- 会のスタッフが集まり、2か月程度先の予定まで話し合います。

現在の活動の様子

● 折り紙教室

ソフトタウン根岸の集会室に、多くの人が集まり、折り紙を楽しんでいます。この日、皆さんが折っているのは、松竹梅の祝い鶴。松竹梅の形に似せた3羽の鶴は、普通の折鶴より複雑です。

折り方を教えているのは、地域ケアプラザなどで折り紙を教えている、にちにち交流会のスタッフです。複雑な折鶴なので、1人で折るのは難しく、周りの人たちと会話をせずにはられません。



「ここは、どうなっているの??」
「ここはこう折るのよ。」
「全然できない・・・」
「簡単よ」
「眠くなっちゃった・・・」と、
さまざまな声が聞こえ、にぎやか。



「こうやって、がやがやとやるのが良いんだよね」とスタッフが楽しそうに話していました。参加者が折り紙に疲れてきたタイミングで、お茶とお菓子が提供され、一休み。とても居心地の良いサロンです。

根岸にちにち交流会の皆さんにお話を伺いました!

Q 活動を続けていくうえで大切なこと、ポイントはなんですか?

さまざまな良い企画をしても、人を集めることは難しいと思う。にちにち交流会では、最低限の人が集まること、活動している自分たちが**楽しんでいる**ことが続いているポイントかなあ。

楽しくなかったらやっていないよ。

Q 連携して活動することの良いことはなんですか?

単に団体といっても、それぞれ個性があるでしょう?例えば、企画力にあまり自信がない団体や人を呼ぶ力をつけたいと思っている団体が、アイデアや動員力のある団体と一緒にあって、**いろいろなことをうまく補いあえることは、一番の強みだ**と思います。

Q 地域課題解決への手応えを感じていますか?

とにかくたくさんの**サロン活動を実施しています!**

同じことを継続するのではなく、アンケートをとるなど、常に新しい企画を取り入れています。

にちにち交流会の活動は、オープンだし、フリーなんです。

地域課題解決のために何かしましょう、という気持ちでやっているのではなく「この指とまれ」で、参加したい人が参加している。

だからこそ、何か問題があった時には、皆で協力して対応できる関係が築けているのだと思う。